



エコアクション21

環境経営活動レポート

— 自社の取組を社会へ広げる環境経営 —

(57期：2024年11月1日～2025年10月31日)



発行 2026年3月2日



私たちは地球のドクター

OSUMI

株式会社オオスミ

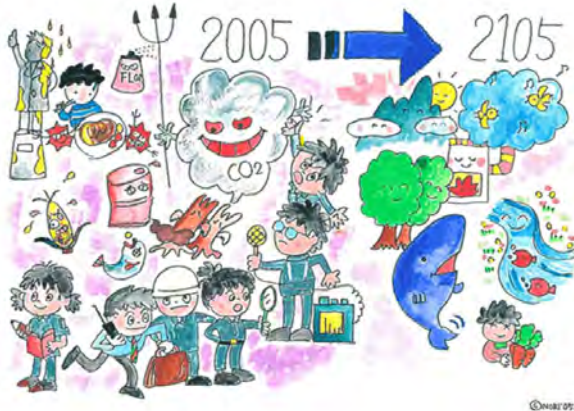
トップメッセージ

1968年の創業以来、オオスミは半世紀以上にわたり、環境調査や分析に取り組んでまいりました。私たちは『地球のドクター』として、環境と向き合い、人と地球の健康を守ることを使命としています。

現在、世界的に脱プラスチックやゼロウェイストの流れが加速し、開発途上国では水・大気・廃棄物の問題が深刻化しています。また、経済活動を優先するあまり未解決のまま残されている環境課題や、気候変動による事業継続への影響も顕在化しています。

こうした状況の中で、私たちは「自らの事業の拡大や進化は、お客様の環境負荷低減と地球環境の保全に直結する」と考え、日々の仕事を通じて地球環境に貢献してまいります。

第57期（2024年11月～2025年10月）においても、排水や大気、土壌などの分析・対策を通じて地球の環境を守り、再生可能エネルギー100%による電力利用など自社のCO₂削減も進めてきました。CO₂排出量は、基準年比▲2%削減を目標としていましたが、取組の結果▲12%削減となりました。さらに、2030年（第62期）までに2022年度（第54期）比でCO₂排出量を42%削減する目標を掲げ、継続的な削減活動を進めています。第57期の省エネ診断等による間接的なCO₂削減量は累計64.7kt - CO₂に達し、全社員のeco検定挑戦や環境イベント「プラスチック・ゲームス」「SDGs絵画展」「環境ウェビナー」などの啓発活動にも取り組み、少しずつ活動の輪を広げています。



私たちは地球に暮らす人々に
『安全』と『安心』を
環境面から提供しつづけます

本レポートでは、環境目標やその達成状況、活動計画の成果と課題をまとめています。すべての目標を達成できたわけではありませんが、改善を重ね、次の一步につなげていきます。

今後も全社一丸となり、地域の皆さまとのつながりを深めつつ、環境負荷低減と啓発活動を継続してまいります。

私たちは「地球のドクター」として、100年後の子どもたちが安心して暮らせる環境を残すため、挑戦を続けてまいります。

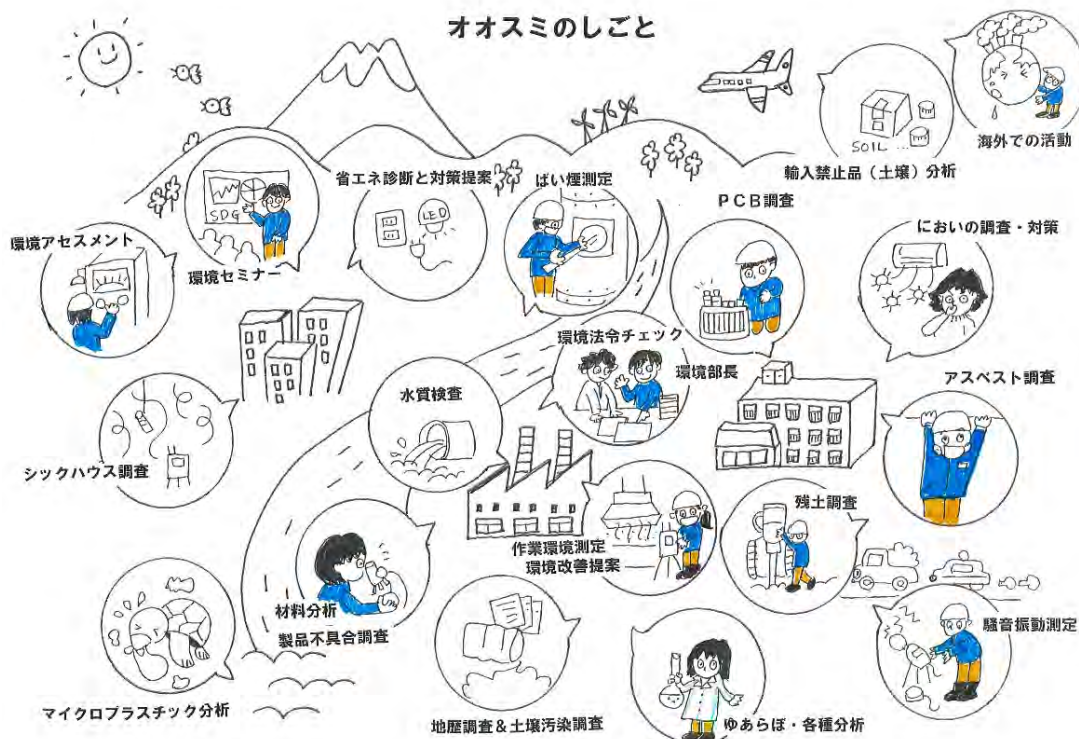
これからもお客様や地域社会とともに、持続可能な未来づくりに取り組んでまいります。



代表取締役 大角 武志

目次

1. オオスミ 環境への取り組み概要	4
2. 私たちの環境方針	7
3. 中長期環境目標（全社）	9
4. 年度の環境目標とその成果レポート	10
5. 環境活動の取組み結果と評価・次年度の取組み	11
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	28
7. 代表者による総合評価と改善に向けた見直し	29



1. オオスミ 環境への取り組み概要

名称及び代表者氏名

株式会社 オオスミ

代表取締役 大角 武志

環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 岩崎 伸治

TEL：045-924-1050



所在地（認証・登録範囲）

本 社 神奈川県横浜市瀬谷区五貫目町20番地17
TEL：045-924-1050（代）
FAX：045-924-1055
東京支店 東京都千代田区神田猿楽町二丁目1番14号
川崎支店 川崎市宮前区鷺沼3-1-37
大和支店 大和市福田2丁目25番地1
福島支店 福島県郡山市富田町字稲川原67番地
千葉営業所 千葉県鎌ヶ谷市西道野辺13-41-101

事業の規模

資本金：3,000万円

工事の件数：4件

従業員：138名

許認可登録・各種資格・加盟団体

計量証明事業登録（濃度）

計量証明事業登録（音圧レベル）

計量証明事業登録（振動加速度レベル）

作業環境測定機関登録 神奈川県労働局14-18

建設コンサルタント登録（土質及び基礎部門）

土壌汚染対策法に基づく指定調査機関登録(環境省)

建築物飲料水水質検査業登録

建築物空気環境測定業登録

毒物劇物一般販売業登録

一般建設業許可（土木工事業、石工事業、

鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、解体工事業、

とび・土工事業、舗装工事業、水道施設工事業）

ISO9001：2015/JIS Q 9001:2015

エコアクション21 認証

環境・社会分野における主な認定・参画制度

横浜型地域貢献企業認定制度（横浜市）

横浜健康経営認証制度 クラスAAA（横浜市）

横浜市SDGs認証制度「Y-SDGs」（横浜市）

東京都地球温暖化対策報告書制度「推進事業所」（東京都）

東京都地球温暖化対策ビジネス事業者制度（東京都）

かながわ再エネ電力利用事業者認定制度（神奈川県）

かながわ脱炭素チャレンジャー認定制度（神奈川県）

かながわSDGsパートナー制度（神奈川県）

かながわプラごみゼロ宣言（神奈川県）

省エネ・地域パートナーシップ（資源エネルギー庁）

30by30アライアンス（環境省）

再エネ100宣言 RE Action

（一般社団法人 再エネ100宣言 RE Action協議会）

事業活動の内容

私たち「地球のドクター®」の仕事

環境調査・分析・対策事業	コンサルティング・セミナー
水質、土壌、建設発生土、産業廃棄物、PCB	環境部長®（環境法令順守サポート）
アスベスト、ばい煙・排ガス、作業環境測定	エコアクション21認証取得支援
室内空気環境、省エネ、騒音・振動	省エネコンサルティング
悪臭、ドクター・スメルグッド®（ニオイの原因特定）	労働衛生コンサルティング
マイクロプラスチック、材料解析・異物分析	化学物質管理者講習
他	各種環境セミナー 他

私たちは地球環境を見守るプロフェッショナルです。

調査、測定、分析、コンサルティング、対策。
確かなプロセスを踏み、あらゆる環境問題への答えを探ります。



オオスミとEMSのあゆみ



**Established
1968**

水処理薬品の製造・販売を目的に
有限会社大角化学を設立
のちに株式会社オオスミへ組織変更・改称

1977

作業環境測定機関登録

1988

環境アセスメントに関する業務を開始

2003

土壤汚染対策法に基づく指定調査機関登録（環境省）

2005

海外業務開始

2009

環境部長[®]環境法令順守サポート業務を開始



2017
株式会社オオスミ創業50年



2019
マイクロプラスチック分析業務を開始
かながわSDGsパートナー登録
横浜市地域貢献企業に認定

2021

環境セミナーサービスを開始
「かながわ再エネ電力利用事業者」に認定



2023

「再エネ100宣言 RE Action」に参加

2024

コンプライアンス宣言企業に認定

2024

横浜市健康経営認証2024

『クラスAAA』認証



2025

参加型環境プログラム『プラスチックゲームス』を開始
6/29 57期

1970

公害防止関連の測定・分析・コンサルティング
業務を開始



1976

計量証明事業登録

1987

アスベストに関する業務を開始

2001

ISO9001認証取得



登録範囲：本社・東京支社における
「環境調査及び計量証明事業」

2004

一般建設業許可取得

2007

地球温暖化対策コンサルティング・調査業務を開始

2015

エコアクション21の認証取得



認証番号 0010719

2016

神奈川県環境保全協議会「環境保全表彰」を受賞

2018

ベトナム国ダナン市で環境コンサル業務開始



2020

本社使用電力 再生可能エネルギー100%を達成

ベトナム国に現地法人Osumi Vietnam Co., Ltd.を設置

2022

労働衛生コンサルティング業務を開始

横浜本社に再生可能エネルギー100%で

稼働する新ラゴ棟を開設



横浜市SDGs認証制度

横浜市SDGs認証制度「Y-SDGs」認定

Y-SDGs
- standard -

2024

エコアクション21認証取得支援業務を開始

SDGs活動を評価され関東商工会議所連合会

『ベスト・アクション表彰』を受賞



2. 私たちの環境方針

オオスミ環境方針

1. 私たちは使命※を掲げ、仕事を通して顧客及び地球環境に貢献します。
2. 私たちは環境や安全に関する法令や決まりごとを順守し、環境汚染の防止と環境負荷の低減を図り、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、カーボンニュートラルに取り組みます。
3. 私たちは、オオスミで働く全ての人々が環境への高い意識を持ち続け環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動します。

2022年11月1日

株式会社オオスミ

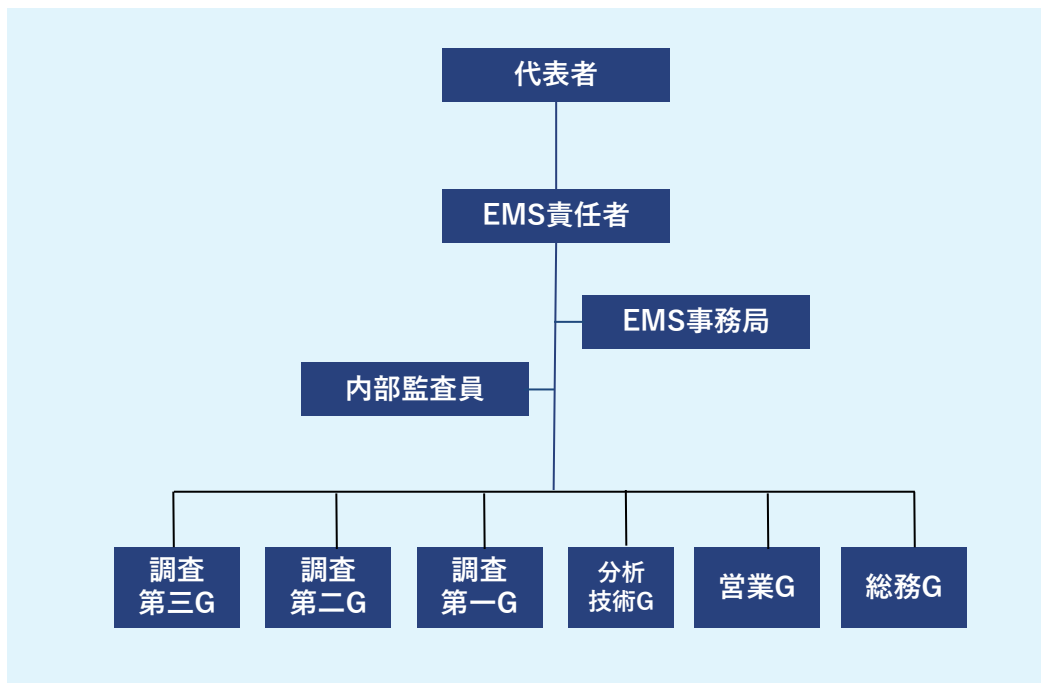
代表取締役 大角 武志

※ 使命：「私たちは地球に暮らす人々に
『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」



OSUMI
私たちは地球のドクター

エコアクション21組織図と責任および権限



■代表者

- ・環境経営方針を定める。
- ・全体の評価・見直しを行う。
- ・要員・技術・技能・資金等の経営資源を確保する。
- ・その他EMSに係る重要な事項を承認し、または決定する。
- ・経営における課題とチャンス进行明確化する。

■EMS責任者

- ・EMSを確立し、維持し、改善する。
- ・環境経営方針を維持管理する。
- ・法規制等への適合状況を調査・評価する。
- ・EMSの構築、運用および維持の状況を代表者に報告する。
- ・外部からの環境に関する苦情や要望を受け、対応策について関係者と協議し決定する。

■各グループ（G）長

- ・法規制等への適合状況を確認し、環境負荷等の特定に当たりEMS責任者を支援する。
- ・グループのEMS運用に必要な手順を確立し、維持し、改善する。
- ・不適合に対する応急処置・是正処置・予防処置を実施する。
- ・外部からの環境に関する苦情や要望については、EMS責任者と協議のうえ決定された対応方針に基づき、必要な措置を実施し、その内容を記録して共有する。

3. 中長期環境目標（全社）

56期～58期の中長期目標

環境目標	SDGs目標	基準年 (55期実績)	56期 (目標：基準年1%削減)	57期 (目標：基準年2%削減)	58期 (目標：基準年3%削減)
		2022年11月～2023年10月	2023年11月～2024年10月	2024年11月～2025年10月	2025年11月～2026年10月
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大(全社売上計画100%遂行)			100%	100%	100%
1-(2)「省エネ」等環境改善に繋がる売上計画100%遂行			100%	100%	100%
2-(1)化学物質の適正管理		分析内容ごとに化学物質の使用量は決められているため、削減目標数値は設定せず適正管理活動の計画を目標とする。			
2-(2)廃棄物の適正管理		当社は環境計量証明業であり、分析に必要な量を減らす目標設定は合理性を欠くため、適正管理活動の計画を目標とする。			
2-(3)-①紙の使用量の削減		4,382kg	4,338kg	4,294kg	4,251kg
2-(3)-②水使用量の削減		2,646m ³	2,620m ³	2,593m ³	2,567m ³
2-(4)排出処理装置の維持運用		水質事故「0」	水質事故「0」	水質事故「0」	水質事故「0」
2-(5)CO ₂ 排出量※		78,739kg-CO ₂	77,951kg-CO ₂	77,164kg-CO ₂	76,376kg-CO ₂
2-(5)-①電力使用量の削減		538,439kWh	533,055kWh	527,670kWh	522,286kWh
2-(5)-②都市ガス使用量の削減		1,135Nm ³	1,124Nm ³	1,112Nm ³	1,101Nm ³
2-(5)-③ガソリン使用量の削減		18,951L	18,761L	18,572L	18,382L
2-(5)-④軽油使用量の削減		6,303L	6,240L	6,177L	6,114L
2-(6)グリーン購入の推進		50.9 %	51.4 %	51.9 %	52.4 %
2-(7)工事現場における環境配慮の徹底		建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮
3.環境に関する取組の向上		環境分析・調査の専門性を基盤に、社内の環境負荷低減と社外への啓発・社会貢献を一体的に推進し、地域と社会の環境改善につながる活動を拡大する。			

備考：※購入電力の二酸化炭素排出係数は、本社はみんな電力（平成30年度）0 k g - C O₂、東京支店は東京電力エナジーパートナー(株)（平成30年度）の0.468 k g - C O₂を使用しています。

4. 年度の環境目標とその成果レポート

凡例：○：目標達成 △：目標達成率が95%以上100%未満 ×：目標未達成（達成率95%未満）

環境目標	SDGs目標	取組みとその評価（2024年11月～2025年10月）		
		目標57期	実績57期	達成区分
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大 (全社売上計画100%遂行)		100%	105%	○
1-(2)「省エネ」売上計画100%遂行		100%	58%	×
2-(1)化学物質の適正管理		<ul style="list-style-type: none"> ・試薬管理システムの適正運用 ・化学物質のリスクアセスメント継続実施および見直し ・化学物質勉強会、安全教育、消防訓練の実施 ・保護具着用状況の定期パトロール ・作業環境測定の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・試薬管理システムによる管理の継続 ・化学物質のリスクアセスメントの継続実施および見直し ・化学物質勉強会、安全教育、消防訓練の実施 ・保護具着用状況の定期パトロールの実施 ・作業環境測定の実施 	○
2-(2)廃棄物の適正管理		<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物ステーションの巡回 ・不適切事例共有による適正管理啓発 ・廃棄物排出量3%削減 ・廃棄物置場および特別管理産業廃棄物倉庫の整備 ・分別ルールの社内展開および教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物ステーションの巡回を実施 ・削減可能な廃棄物の検討を行い、フェノール類の試験方法を見直し、シアン廃液の削減を実施 ・廃棄物分別および産業廃棄物管理に関する内容を社内へ展開 ・新入社員教育および部内会議にて廃棄物管理教育を実施 	○
2-(3)-①紙使用量の削減		4,294kg	3,520kg	○
2-(3)-②水使用量の削減		2,593m ³	2,673m ³	△
2-(4)排出処理装置の維持運用		水質事故「0」	水質事故「0」	○
2-(5)CO ₂ 排出量※1		77,164kg-CO ₂	69,649kg-CO ₂	○
2-(5)-①電力使用量の削減		527,670kWh	539,862kWh	△
2-(5)-②都市ガス使用量の削減		1,112Nm ³	915Nm ³	○
2-(5)-③ガソリン使用量の削減		18,572L	17,240L	○
2-(5)-④軽油使用量の削減		6,177L	5,192L	○
2-(6)グリーン購入の推進		53.0 %	51.2 %	△
2-(7)工事現場における環境配慮の徹底		建設現場での環境配慮 (低騒音型重機・省エネ資材の使用・充電式電動工具等の活用・レンタル利用による廃棄物の削減)	建設現場での環境配慮 (低騒音型重機・省エネ資材の使用・充電式電動工具等の活用・レンタル利用による廃棄物の削減など)	○
3.環境に関する取組みの向上		<ul style="list-style-type: none"> ・eco検定全社員合格の推進 ・外周清掃および地域清掃活動の実施 ・HP等による環境活動の発信強化 ・緑化ボランティアの実施 ・省エネ業務におけるCO₂削減提案量の10%以上向上 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・eco検定受験の促進を実施 ・清掃活動等の地域貢献活動を実施 ・各種社会貢献活動を継続実施 ・CO₂削減提案量は目標を達成 (p18～25 環境への取組み参照) 	○

備考：※1：購入電力の二酸化炭素排出係数は、本社はみんな電力（平成30年度）0 kg-CO₂、東京支店は東京電力エナジーパートナー(株)（平成30年度）の0.468 kg-CO₂を使用しています。

※2：環境社会検定試験（eco検定）®は東京商工会議所の登録商標です。

5. 環境活動の取組み結果と評価・次年度の取組み

(1) 事業を通じた環境貢献

オオスミは、地球に暮らす人々の「安全」と「安心」のため、環境調査・分析・対策を通じてお客様および地球環境に貢献することを目指しています。中でも、お客様の環境負荷低減につながるサービスについて取組み目標を定め、継続的に活動を進めています。

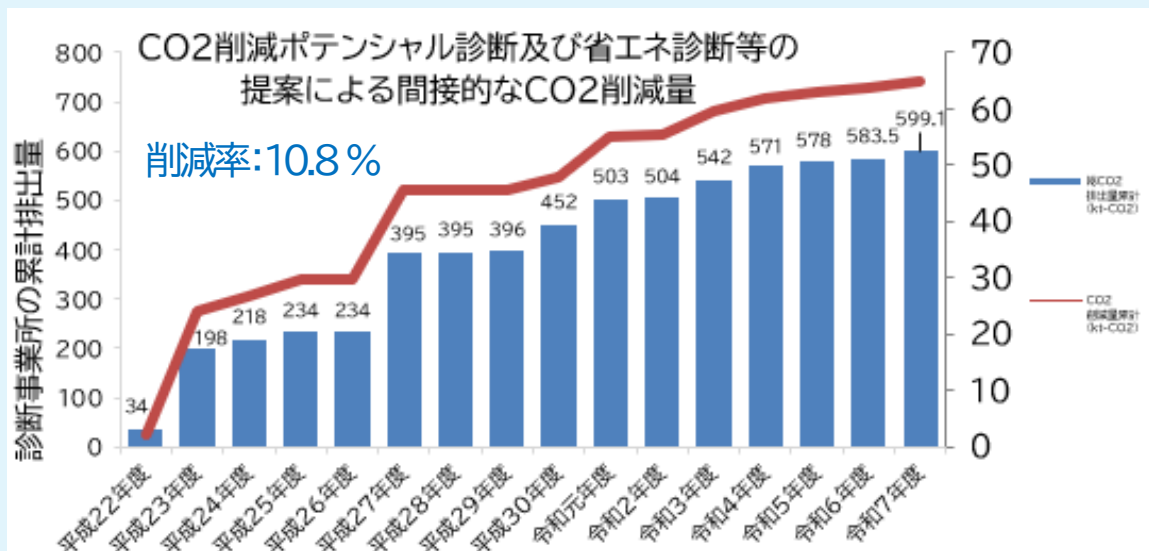
省エネ業務及び環境改善につながる案件等の受注拡大

環境改善や省エネコンサルティング業務の受注拡大を目指し、企画・提案力の強化に取り組ましました。また、環境改善に寄与する取組みとして年間12回の無料環境ウェビナーを開催しました。

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(58期)取組み内容
1	省エネ業務及び環境改善につながる案件等の受注拡大	全社目標	新規環境サービス（脱炭素経営塾、非化石証書支援、カードゲーム型WS等）を含め、環境改善・脱炭素・省エネ関連案件の受注を拡大した	○	・全社売上計画の遂行
		各グループの取組み	■目標達成 ・ウェビナー目標10回 → 実績12回 ・土壌汚染浄化土量4000m ³ →9664m ³ ・売上計画遂行105% など ■目標未達 ・省エネコンサル受注が58%と未達	△ 未達ありのため	・ターゲットを明確化した省エネコンサルティングのPR戦略で受注拡大を図る ・環境改善に資する無料環境ウェビナーを年10回以上 ・土壌汚染対策工事の浄化土量増加を目指し、提案力強化を図るなど

間接的なCO₂削減量の算出の取組み

オオスミが実施しているCO₂削減ポテンシャル診断や省エネ診断等の提案による、間接的なCO₂削減量の算出を行っています。**令和7年度までに削減したお客様のCO₂排出量は累計 64.7 kt-CO₂ となり、削減率は 10.8% となりました。**



(2) 自社の主な環境活動

私たちは、環境調査・分析・対策などの事業活動において、環境や安全に関する法令や規則を順守し、環境汚染の防止および環境負荷の低減を目指して目標を設定し、継続的に取り組んでいます。

① 化学物質の適正管理

安全教育を実施するとともに、保護具着用状況の定期パトロールおよび化学物質勉強会を実施。新規導入した処理装置用試薬について、クリエイトシンプルにより危険有害性を確認、管理対象物質として追加した。



環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(58期) 取組み内容
2-1)	使用化学物質の種類と量の把握及び適正な保管状況の維持	試薬管理システムの適正運用	試薬管理システムにより指定数量の管理を継続	○	試薬管理システムの適正運用
		化学物質のリスクアセスメント継続実施・必要に応じ見直し	リスクアセスメントを実施し、必要に応じて見直しを実施		化学物質のリスクアセスメント実施・見直し
		勉強会・安全教育・消防訓練の実施・保護具着用状況の定期パトロール	・安全教育・化学物質勉強会実施 ・消火器設置場所の確認訓練実施 ・保護具着用状況の定期パトロールを実施		勉強会（リスクアセス・化学物質）・安全教育・消防訓練の実施・保護具着用状況の定期パトロールの実施
		定期的な作業環境測定	年2回実施		作業環境測定の実施

② 廃棄物の適正管理

『産業廃棄物及び資源の分別ルールブック』を作成し、分別の明確化と徹底を図ることで、廃棄物の減量化に取り組みました。



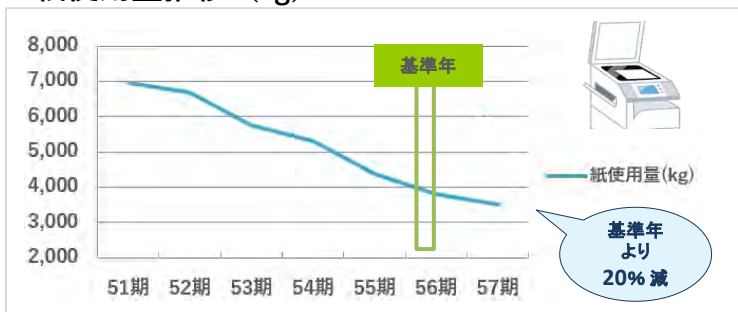
環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(58期) 取組み内容
2-2)	廃棄物の適正管理	・定期的な巡回 ・廃棄物置き場の整備・管理の継続 ・分別ルールブックを活用し、分別徹底を進める ・リサイクル区分を明確化し、廃棄物の減量とリサイクル推進に取り組む	・定期的な巡回 ・廃棄物置場及び特管倉庫内整備実施 ・廃棄物の分別ルールブックを活用した教育の実施 ・レターバック書き損じもったいない活動を実施し、書き損じを削減 ・削減可能な廃棄物の検討から、分析方法を変更、廃液の削減を実施	○	・定期的な巡回 ・廃棄物置き場の整備・管理の継続 ・分別ルールブックを活用し、分別徹底を進める ・勉強会の開催 ・リサイクル区分を明確化し、廃棄物の減量とリサイクル推進に取り組む
		【参考指標】 産業廃棄物＋一般事業系廃棄物リサイクル率88%の維持を掲げています。	【参考指標】 産業廃棄物＋一般事業系廃棄物リサイクル率 73%		【参考指標】 産業廃棄物＋一般事業系廃棄物リサイクル率 88%

③ 資源の効率的活用

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(58期) 取組み内容
2-(3)	資源の効率的利用	①紙使用量の削減	基準年比20%減 ・社内提出書類の電子化による紙使用量の削減 ・既存フォルダーの活用による資源の有効利用 ・計量証明の電子化推進 ・電子データによる書類チェックの実施	○	・書類の電子化推進 ・紙使用量の見える化 ・報告書の電子化
		②水使用量の削減	基準年比1%増 ・水の再利用について検討し、見積取得を実施したが、実現には至らず ・インキュベーター導入を検討し、機器選定および発注まで実施したが、予算の関係により運用開始は保留となった	△	・使用量の見える化 ・異常使用時の迅速対応 ・節水意識の啓発

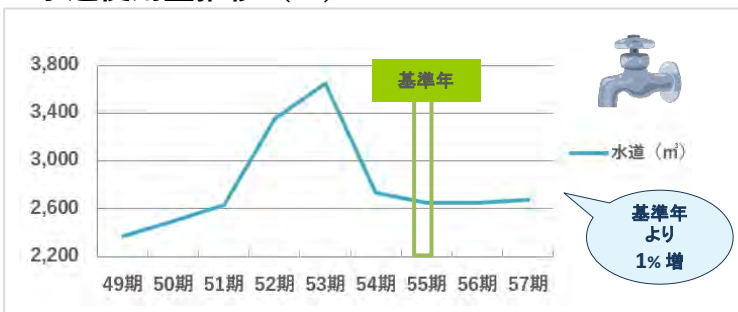
※DW：電子文書と電子化した紙文書の一元管理システム

紙使用量推移 (kg)



主に成果品としての報告書や控え、チェック・記録などに紙を使用しています。システム化や保管方法の改善、ダブルモニターの導入、報告書の電子化などを活用することで、51期以降、紙の使用量は継続的に減少しています。

水道使用量推移 (m³)



主に環境分析業務で水道水を使用しています。49期から毎年使用量が増加していましたが、冷却水循環装置の導入等により54期、55期ともに減少、55期から56期は横ばいでした。57期に入り、分析量の増加による影響で基準年より1%増となりました。原因究明を行い削減に努めます。

④ 排水処理装置の維持・運用

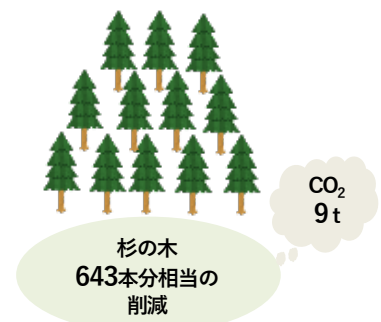
環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
2-(4)	排水処理装置の維持・運用	日常及び定期管理 基準超過0件 水質事故0件	基準超過、水質事故共にゼロ 	○	・日常点検・定期メンテナンスの実施 ・水質事故防止の管理 ・処理装置に関する教育の実施

⑤ CO₂排出量の削減

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(58期) 取組み内容	
2-(5)	CO ₂ 排出量の削減	①電力使用量の削減	・エアコンフィルター清掃の全社実施・昼休みの消灯徹底・エアコンのタイマー設定による運転管理・適正温度設定の管理および啓発	・清掃の呼びかけを実施 ・昼休みの消灯を実施 ・タイマー設定により無駄な電力使用を削減 ・適正温度設定の管理および啓発	○	・空調・照明の適正運用 ・温度計測による意識向上 ・節電意識の啓発 ・デマンド監視装置の導入による夏季の電力ピークカット ・外調機のフィルター清掃
		②化石燃料消費量の削減 ・都市ガス/ガソリン/軽油	【ガス】・ウォーターバスの電気式への切替 ・電気式ケルダール分解装置の導入検討 【ガソリン・軽油】 ・エコドライブの啓発・電気自動車導入の検討 ・ノーカーデーの実施 ・公共交通機関の活用推進	【ガス】・ウォーターバスの設備検討、見積取得および設置を実施した ・電気式ケルダール分解装置は検討を行ったが、現行設備での対応を継続した 【ガソリン・軽油】 ・ノーカーデーを実施し、目標を達成した・公共交通機関の利用および車両の効率運用を実施した ・エコドライブの啓発を実施した	○	・ガス機器の電化（設備改善） ・エコドライブの推進 ・ノーカーデーの実施 ・公共交通機関・Web活用 ・業務効率化による移動削減
		③CO ₂ 排出量	・省エネ業務におけるCO ₂ 削減提案量を10%以上とする ・CO ₂ 排出量の見える化	・CO ₂ 削減提案量は約12.2%となり、目標を達成した ・CO ₂ 排出量を数値化し、社内への啓発発信を実施した	○	・全社的な削減意識の向上 ・省エネ業務におけるCO ₂ 削減提案量を10%以上とする

CO₂排出量 (kg-CO₂)

53期に行った太陽光発電の導入、風力発電所を指定した電力の供給により、本社は『再生可能エネルギー100%』となりました。**基準年（55期）と比較して57期はCO₂ 排出削減量9,090kg-CO₂、削減率12%！杉の木換算約643本分のCO₂削減効果**となりました！今後は全社で再生可能エネルギー100%を目指します。第56期に中小企業版SBTの認定を取得し、2030年（第62期）までに2022年度(第54期)比でCO₂排出量を42%削減する目標を掲げています。



電力供給

発電所指定型の電力契約により、秋田県八峰町の峰浜風力発電所の電力を使用しています。



太陽光発電

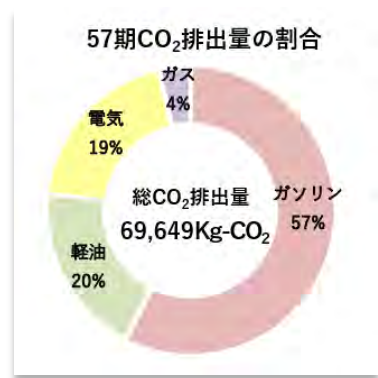
2020年（第53期）に本社屋上へ太陽光発電設備を設置しました。今期は本社で使用する電力の約8.4%を自家発電で賄いました。

☀️ 発電量45,589kWh/年

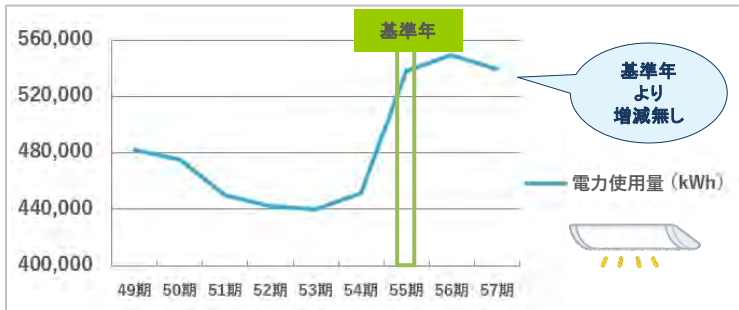
第58期中には投資回収がほぼ完了する見込みであり、今後は発電による削減効果がそのままコストメリットとなります。



各種エネルギー使用量の推移

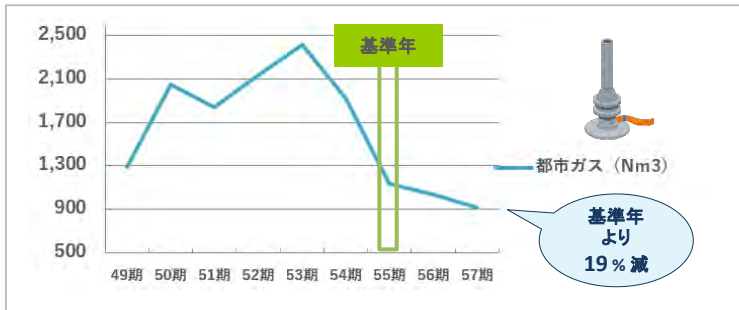


電力使用量推移 (kWh)



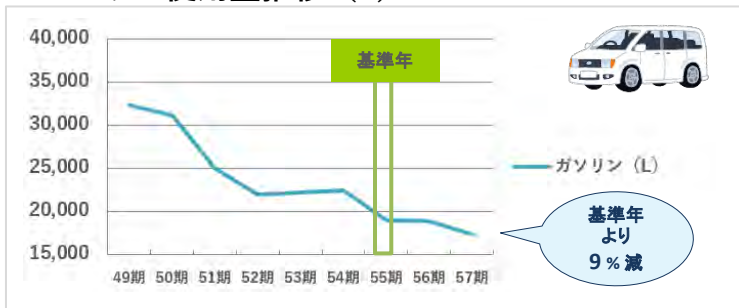
55期より新ラボ棟が本格稼働したため、電力使用量は一時的に増加しました。57期は、LED化や高効率設備への更新、センサーライト導入、エアコン適正使用の啓発・タイマー徹底など設備・運用の両面で改善を実施、前期比2%削減を達成。基準年比では概ね横ばいです。今後も継続的な削減に取り組めます。

都市ガス使用量推移 (Nm³)



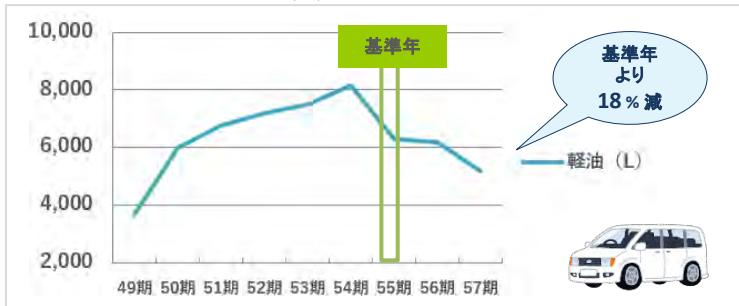
新ラボ導入に伴い分析装置の電氣化を進めた結果、都市ガス使用量は大幅に減少しました。引き続きエネルギー転換と使用量低減を進めます。

ガソリン使用量推移 (L)



49期から社用車の相乗り推進、アイドリングストップ、ハイブリット車への切替、ノーカーデーなどの継続により、順調に使用量が減少しました。今後もエコドライブで削減を続けます。

軽油使用量推移 (L)



49期以降の増加は遠方調査の増加による移動距離の拡大が要因と考えられます。56期は遠方調査の減少に伴い抑制されました。今後も移動効率化と運転改善で低減を図ります。

⑥ グリーン購入の推進

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(58期) 取組み内容
2-(6)	グリーン購入の推進	グリーン購入の啓発・実施	グリーン購入の結果公開及びグリーン購入の全社啓発回覧の実施	○	・環境配慮製品の優先購入 ・社内への啓発活動 ・エコ商品の選定推進

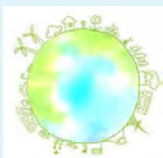
⑦ 工事現場における環境配慮の徹底

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(58期) 取組み内容
2-(7)	工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮 (低騒音型重機・省エネ資材の使用・充電式電動工具等の活用・レンタル利用による廃棄物の削減)	現場での発生ゴミの適正分別、及び、低騒音型重機建設現場での環境配慮・省エネ資材の使用・充電式電動工具等の活用・レンタル利用による廃棄物の削減を採用	○	建設現場での環境配慮 (低騒音型重機・省エネ資材の使用・充電式電動工具等の活用・レンタル利用による廃棄物の削減)

(3) 環境に関する取組みの向上

オオスミで働く全ての人々が環境への高い意識を持ち続け、環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動することを目指しています。これまで行ってきた持続可能な環境や社会に向けた様々な環境活動の一部をご紹介します。

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(58期) 取組み内容
3	環境に関する取組みの向上	環境分析・調査の専門性を基盤に、社内の環境負荷低減と社外への啓発・社会貢献を一体的に推進し、地域と社会の環境改善につながる活動を拡大する。 8つのアクション ・ゴミ問題に取り組む地域アクション ・脱プラ推進と資源有効活用アクション ・省資源と水・森林環境を守るアクション ・自然と共生する生物多様性アクション ・再エネ活用と省エネ推進アクション ・未来世代を育む環境教育アクション ・社会へ広げる環境情報発信アクション ・地域とつながる環境啓発アクション	(p18~25 環境への取組み参照) 環境社会検定試験 (e c o 検定)® 合格率『94.3%』	○	強化目標 ・ごみ問題/脱プラ推進 ・自然と共生する生物多様性 ・地域とつながる環境啓発アクション ・環境社会検定試験 (e c o 検定)®全員合格 など



オオスミでは、働く全ての人々が常に環境への高い意識を持ち続け、多様化する環境に関する知識を深める機会として、『環境社会検定試験 (e c o 検定)®』の学習・取得を推奨し、全社員合格を目指しています。

**環境社会検定試験 (e c o 検定)®は合格率『94.3%』
合格者数100名※57期末時点となりました。**

引き続き、全社員合格に取り組めます！

環境への取組み①〔ゴミ問題に取り組む地域アクション〕

2024年 現在 楽しみながら学ぶ環境活動 「プラスチック・ゲームス」の開催

「プラスチック・ゲームス」は、ゲーム感覚で得点を競いながらごみを拾う、エンタメ型の環境活動です。**楽しみながらマイクロプラスチック問題を体験的に学ぶことができます。**参加者からは「小さなごみが多く存在することに気づいた」に加え、「食品容器ごみの多さから、海のごみが日常の消費行動とつながっていることに気づいた」といった声が寄せられており、**環境問題を“自分ごと”として捉えるきっかけづくりや、環境意識の向上につながっています。**



2024年 現在 1dayインターンシップで マイクロプラスチック採取体験

次世代の環境人材育成を目的に、1dayインターンシップを実施しています。参加学生は、由比ガ浜でのマイクロプラスチック採取などのフィールドワークを通じて、海洋ごみ問題を体感的に学びます。

採取したサンプルは自社ラボで分析し、課題レポートとしてまとめることで、環境調査の流れを一日で体験できるプログラムとしています。



2022年 現在 ピリカで広がるごみ拾いの輪と 地域貢献活動

ピリカ（ごみ拾いSNS）を活用し、海岸や会社周辺、通勤経路などでごみ拾い活動を行っています。拾ったごみの量はアプリ上で「見える化」され、「いいね」を通じて活動の継続につながっています。また、本社周辺の外周清掃（毎月1回）にもピリカを活用し、地域の環境美化と社員の環境意識向上に取り組んでいます。



2016年 現在 目黒町公園の草刈り・清掃活動

本社前にある目黒町公園で、草刈りと清掃活動を行っています。毎月、昼休みの時間を使って活動しています。特に夏の時期には草刈り機も使用し、みっちりと作業に取り組んでいます。**地域の方々が安心して利用できる公園環境の維持に努めています。**



環境への取組み②〔脱プラ推進と資源有効活用アクション〕



2023年 現在 クリアホルダー・ユニフォームの リサイクルによる資源循環の推進

アスクル資源循環プラットフォームに登録し、使用済みクリアホルダーのリサイクルに取り組みるとともに、使用済みユニフォームについても、適切なりサイクル処理を行う企業と契約し、回収・再資源化を進めています。これらの取組みを通じ、**社内から発生するプラスチックの循環利用を継続的に推進**しています。



2022年 現在 プラスチック製クリアファイル 『購入量ゼロ』活動

脱プラスチックの一環として、事業活動で使用するプラスチック製クリアファイルの「購入量ゼロ」を目指す取組を実施。紙製やライメックス製など代替品の使用ルールを全社で徹底し、活動開始から約3年半で購入量を85%削減しました。(前期から10%増加)引続き、継続的に取り組んでいきます。



紙製のファイル

2021年 現在 ブックポスト設置による資源有効 活用の推進

社内に「ブックポスト」を設置し、読み終えた本を回収。障がい者施設と連携した仕組みを通じて再活用し、**本の価値を循環**させています。資源を最後まで活かす取組として継続的に実施しています。



2019年 現在 脱プラ推進のための自販機見直しと ウォーターサーバー導入

脱プラスチック活動の一環として、当社ではペットボトル飲料を扱わない「脱ペットボトル自動販売機」を導入し、缶飲料のみの販売に切り替えました。また、水道直結型ウォーターサーバーを設置し、従業員にはロゴ入り水筒を配布してマイボトル利用を促進しています。



環境への取組み③〔省資源と水・森林環境を守るアクション〕

2023年 現在 ペーパーレス促進による 業務効率化と環境負荷削減

ペーパーレス推進のため、文書管理ツールを活用し、データチェックや報告書作成を一部電子化しました。その結果、印刷量を基準年対比13%削減し、在宅勤務にも対応できる業務体制を整備しています。また、営業グループとの受注票のやり取りも電子化し、グループ間の業務効率化が進んでいます。



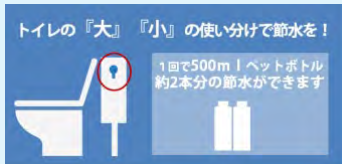
2022年 現在 計量証明書にFSC認証紙を使用した 環境配慮

お客様からお預かりしたサンプルの分析結果を報告する、環境計量業務を支える重要な書類である計量証明書（分析結果報告書）には、**森林の管理が環境や地域社会に配慮して適切に行われていることを証明するFSC認証紙**を採用しています。



2019年 現在 ステッカーと節水バルブによる 社内節水の促進

水使用量の削減を目的に、社内トイレでの節水対策を進めています。トイレには大小の使い分けを促す節水啓発ステッカーを掲示しています。また、節水バルブを設置し、従来比で10~40%の節水を実現しています。



2017年 現在 道志の森基金への寄付による 水源保全活動

本社の飲料用自動販売機の売り上げの1%を、『水のふるさと道志の森基金』へ半年に1回継続して寄付しています。この基金は、横浜市の水源地である道志の森を守り再生するための『道志ボランティア事業』に活用されており、**地域の水環境保全**につながっています。



環境への取組み④〔自然と共生する生物多様性アクション〕



2020年 現在 持続可能な食を考える無農薬野菜 づくりプロジェクト

会社近くの畑を借り、無農薬で季節の野菜を育てる取り組みを行っています。社員が楽しみながら栽培に参加し、収穫した野菜は社内で分け合っています。この活動を通じて、**食の安全や環境への配慮**について考える機会を広げ、持続可能な環境・社会への意識向上につなげています。



2020年 現在 本社外周を緑化！ ～自然と触れ合う歩道～

本社外周フェンスや正門前のスペースを活用し、地域に季節の彩りを届ける花壇づくりを行っています。社員が育てた苗をはじめ、チューリップ、ホウセンカ、マリーゴールド、アジサイなどを植栽し、**通勤・通学で前を通る方々が、自然に触れ合いながら明るい気持ちになれるよう整備**を続けています。



2020年 現在 地域の川の生態を再現した アクアリウム

地域の自然に親しんでいただくため、受付近くに川の生態を再現したアクアリウムを設置しています。現在は地域の川に生息するオイカワやヨシノボリが泳いでおり、社内だけでなく、**来社された方にも身近な生態系に親しんでいただける場**となっています。



2009年 現在 『生物多様性のための30by30 アライアンス』への参加

環境省の「モニタリングサイト1000里地調査」に継続的に参画し、梅田川流域の里地里山における生態系調査を通じて、**自然環境の現状把握と保全**に貢献してきました。さらに2024年からは、環境省『30by30』プロジェクトの趣旨に賛同し、「**生物多様性のための30by30アライアンス**」に登録するなど、**生物多様性保護**に向けた取り組みの検討も進めています。



環境への取組み⑤〔再エネ活用と省エネ推進アクション〕

2020年 現在 オオスミは再エネ100%電力による環境分析を提供しています

オオスミ使用電力は再生可能エネルギー100%となりました！
これからも、持続可能な環境や社会の構築に貢献します。

10% 屋上に設置する太陽光発電システム
90% 秋田県八幡町峰浜風力発電所からの電力

本社

2020年 現在 社用車燃費の見える化でエコドライブを促進

ガソリン・軽油削減を目的に、社用車の燃費を算出し社内で共有しました。「エコ運転を意識した」との声もあり、意識向上につながりました。

また、本社駐車場にEV充電器を設置しました。現在は電気自動車の社用車導入には至っていませんが、今後の導入に備えた環境整備として設置しました。

車両別燃費一覧 (56期 2023年11月～2024年10月)

車種	車種	燃費	備考
1	トヨタ	10.1	
2	トヨタ	10.1	
3	トヨタ	10.1	
4	トヨタ	10.1	
5	トヨタ	10.1	
6	トヨタ	10.1	
7	トヨタ	10.1	
8	トヨタ	10.1	
9	トヨタ	10.1	
10	トヨタ	10.1	
11	トヨタ	10.1	
12	トヨタ	10.1	
13	トヨタ	10.1	
14	トヨタ	10.1	
15	トヨタ	10.1	
16	トヨタ	10.1	
17	トヨタ	10.1	
18	トヨタ	10.1	
19	トヨタ	10.1	
20	トヨタ	10.1	
21	トヨタ	10.1	
22	トヨタ	10.1	
23	トヨタ	10.1	
24	トヨタ	10.1	
25	トヨタ	10.1	
26	トヨタ	10.1	
27	トヨタ	10.1	
28	トヨタ	10.1	
29	トヨタ	10.1	
30	トヨタ	10.1	
31	トヨタ	10.1	
32	トヨタ	10.1	
33	トヨタ	10.1	
34	トヨタ	10.1	
35	トヨタ	10.1	
36	トヨタ	10.1	
37	トヨタ	10.1	
38	トヨタ	10.1	
39	トヨタ	10.1	
40	トヨタ	10.1	
41	トヨタ	10.1	
42	トヨタ	10.1	
43	トヨタ	10.1	
44	トヨタ	10.1	
45	トヨタ	10.1	
46	トヨタ	10.1	
47	トヨタ	10.1	
48	トヨタ	10.1	
49	トヨタ	10.1	
50	トヨタ	10.1	
51	トヨタ	10.1	
52	トヨタ	10.1	
53	トヨタ	10.1	
54	トヨタ	10.1	
55	トヨタ	10.1	
56	トヨタ	10.1	



2018年 現在 エネルギー効率の向上に向けた節電の取組み

オオスミの環境への取組み



本社では再生可能エネルギー100%電力を使用するとともに、電力使用量削減に向けて設備面・運用面の両面から省エネ対策を推進しています。

また、人感センサー設置による照明削減や、空調の適正温度管理、タイマー制御、設備洗浄・フィルター清掃、遮熱対策などを継続しています。さらに、『無理なく省エネできる運用改善』を社内共有し、継続的な省エネ行動の定着を図っています。

今期はデマンド監視装置を導入し、夏季の電力ピーク抑制に活用していきます。



OSUMI 無理なく省エネできる運用改善 (できることはやってみよう！活動)

① 照明時は照明を消す

環境への取組み⑥ [未来世代を育む環境教育アクション]



2022年
▼
現在

地域・子どもたちと描くSDGs絵画展～私たちの未来の地球を守ろう～

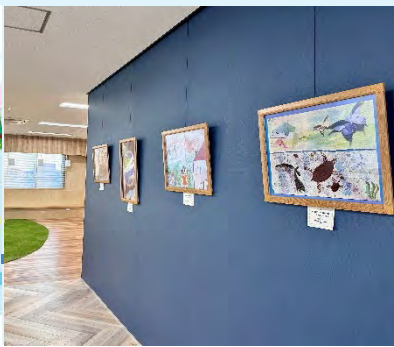


「未来の地球を守る」という想いのもと、地域の小学生・中学生を対象に環境絵画展を開催しています。2022年にスタートした本取り組みでは、子どもたちが「未来の地球」や「環境のために自分ができること」を自由に表現した作品を寄せてくれています。



作品は本社外構フェンスに展示しており、通学途中の子どもたちが足を止めて眺める姿も見られるなど、地域とのつながりが生まれています。

さらに、「環境について考えるきっかけになった」という声が寄せられるなど、子どもたちの学びにもつながっています。オオスミは、子どもたちとともに環境を考える取り組みとして、この活動をこれからも継続していきます。



2017年
▼
現在

次世代を担う子どもたちへの環境教育支援

次世代の環境意識を育むことを目的に、保育園児から高校生まで幅広い年代を対象とした環境教育を実施しています。海岸でプラスチックごみを拾い、その重さを競う「プラスチックゲーム」などの体験型学習のほか、企業が向き合う環境課題をテーマにした職業講和、プラスチック問題に関する講義や分析体験を交えた訪問学習、探求学習の支援にも取り組んでいます。実際の現場体験を通じて、子どもたちが環境問題を自分ごととして考える機会を提供しています。



環境への取組み⑦ (社会へ広げる環境情報発信アクション)



2019年
▼
現在

脱プラとゼロウェイトを伝える環境マガジン『ZERO CHRONICLE』の発行

「日本の脱プラとゼロ・ウェイトに貢献したい」という想いのもと、オオスミでは環境マガジン『ZERO CHRONICLE (ゼロ・クロニクル)』を夏至と冬至の年2回発行しています。国内外の企業や地域の実践事例取材し、海外特集や国内企業の活動紹介に加え、エコグッズ・環境関連書籍なども取り上げながら、**持続可能な社会づくりに向けた取り組みを広く紹介**しています。



#11号
フランス特集
発行：2024/12/21



デジタル版

2018年
▼
現在

環境分野の知識向上を支える環境Webinar (無料) の定期開催



環境関連分野の知識習得を支援するため、外部のお客様向けに「オオスミ環境Webinar」を毎月開催しています。環境法令対策、臭気トラブル、温対法・省エネ法、アスベスト、労働衛生、建設工事に伴う環境調査、化管法 (PRTR制度)、大気汚染防止法、騒音・振動規制法など、多岐にわたるテーマを取り上げ、企業の法令順守や技術力向上に寄与する専門情報を発信しています。参加者からは「理解が深まった」「複雑な環境法令が分かりやすい」といった声が寄せられており、環境リスク低減や適正管理の促進に貢献しています。

第46回オオスミ環境Webinar
事業所の環境法令対策セミナー
温対法&省エネ法
2024年1月23日(火)
14:00~16:15 オンライン開催

2024年3月7日(木)
15:00~16:30 オンライン開催

2024年4月10日(水)
14:00~16:00 オンライン開催

2024年5月28日(水)
15:00~16:30 オンライン開催

2024年6月4日(水)
14:00~16:00 オンライン開催

2024年7月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年8月17日(日)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年9月14日(日)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年10月12日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年11月9日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年12月7日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

第48回オオスミ環境Webinar
事業所の環境法令対策セミナー
水質汚濁防止法&下水道法
2024年4月10日(水)
14:00~16:00 オンライン開催

3つの立場をもつオオスミだからできる、現場で役立つプログラム!

● 水質汚濁防止法と下水道法の関係
● 事業所から出る汚染物質 (PRTR) の把握、削減の考え方
● 事業所から出る汚染物質 (PRTR) の削減、削減の考え方、自治体の「汚染物質等管理計画」で定める削減率による「よゝみ」事業所削減率の削減率 (削減率)

水質分析のついで

● 水質汚濁防止法と下水道法の関係
● 事業所から出る汚染物質 (PRTR) の把握、削減の考え方
● 事業所から出る汚染物質 (PRTR) の削減、削減の考え方、自治体の「汚染物質等管理計画」で定める削減率による「よゝみ」事業所削減率の削減率 (削減率)

第49回オオスミ環境Webinar
事業所の環境法令対策セミナー
水質汚濁防止法&下水道法
2024年4月10日(水)
14:00~16:00 オンライン開催

3つの立場をもつオオスミだからできる、現場で役立つプログラム!

法改正への対応不備が疑いやすい、水質汚濁防止法について、実務経験豊富な技術者が、わかりやすく解説します!

● 水質汚濁防止法と下水道法の関係
● 事業所から出る汚染物質 (PRTR) の把握、削減の考え方
● 事業所から出る汚染物質 (PRTR) の削減、削減の考え方、自治体の「汚染物質等管理計画」で定める削減率による「よゝみ」事業所削減率の削減率 (削減率)

水質分析のついで

● 水質汚濁防止法と下水道法の関係
● 事業所から出る汚染物質 (PRTR) の把握、削減の考え方
● 事業所から出る汚染物質 (PRTR) の削減、削減の考え方、自治体の「汚染物質等管理計画」で定める削減率による「よゝみ」事業所削減率の削減率 (削減率)

第50回オオスミ環境Webinar
事業所の環境法令対策セミナー
アスベストに関するリスク
2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2024年2月20日(土)
10:00~12:00 オンライン開催

2022年
▼
2024年

SDGs啓発イベント『LOUD & PEACE』の開催



環境問題を楽しく前向きに考えるSDGs啓発イベント『LOUD & PEACE (ラウド&ピース)』を開催しています。ロックフェスのようなスタイルで、「食と環境」「ごみ問題」「炭素を出さない生き方・働き方」などをテーマに、さまざまな知見をお持ちのゲストスピーカーとの対話を通じて多様な視点から環境を学べる場を提供しています。来場者からは「視点が広がった」「ロックテイストが新鮮で素敵」「食に対する考え方、価値観が変わった」「アクションを起こしてみようと思う」などの声が寄せられ、環境への気づきを生み出す取り組みとして好評を得ています。



2017年
▼
現在

大岡川や運河の環境改善に取り組むプロボノ活動・環境イベント

環境分析の専門技術を活かし、地域に貢献するプロボノ活動（専門性を活かしたボランティア）を行っています。参画しているNPO法人HamaBridge濱橋会の取り組みとして、「大岡川の水を徹底的に綺麗にするプロジェクト」では、定期的な水質調査や勉強会での講師活動を通じて、環境改善の輪を広げています。また、濱橋会が主催するイベント「運河チャレンジ」では、小学生でも体験できる環境調査ブースを継続出展し、水の採取や簡易分析体験を通して、身近な運河から環境への興味を育む取り組みを行っています。地域の未来を担う子どもたちをはじめ、多くの来場者に環境調査の重要性と面白さを伝える活動です。



オオスミのSDGsへの取組み

私たちは地球のドクター



「私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」をミッションとし、地球環境問題の解決に貢献することを目指しています。

私たちは、SDGsをミッションを果たすための中間指標とし、全社員で目標を定め、オオスミの強みを活かすことで、持続可能な環境や社会の構築に貢献します。

オオスミの事業を通じたSDGsの貢献

サービス (調査・分析・コンサルティング)	3 気候変動 への取り組み	4 質の高い教育 をみんなに	6 清潔な水と 衛生	7 再生可能 エネルギー	8 豊かになる 経済を	11 住み続け るまちづくり	12 持続可能な 消費と生産	14 海の豊かさ を守ろう	15 陸の豊かさ を守ろう	17 パートナーズ シップで目標を 達成しよう
水(水質調査・分析)	○	○	○			○	○	○	○	○
土(土壌調査・分析)	○	○	○			○	○	○	○	○
産業廃棄物 (調査・分析)	○	○	○			○	○	○	○	○
大気	○	○	○			○	○			○
悪臭・におい	○	○	○			○	○			○
騒音・振動	○	○				○				○
PCB	○	○				○	○			○
アスベスト分析	○	○				○	○			○
マイクロプラスチック	○	○	○				○	○		○
環境アセス	○	○	○			○		○	○	○
自然環境	○	○	○			○		○	○	○
環境・省エネコンサルティング	○	○	○	○	○	○	○			○
労働安全衛生	○	○			○					○
異物・材料分析		○			○		○			○
海外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ロゴ 目標	オオスミのサービスとビジョン	
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水（水質調査・分析） 土（土壌調査・分析） 産業廃棄物 大気 悪臭・におい 騒音・振動 環境・省エネコンサルティング 	<ul style="list-style-type: none"> PCB アスベスト調査・分析 マイクロプラスチック 環境アセス 自然環境 労働安全衛生 海外 <p>各種公害系環境保全事業（大気、土壌、水質調査等）を通じて環境の現状、並びに潜在的な汚染の把握を行います。また対策工事の実施により、さらなる環境の改善や汚染の拡大を未然に防ぎます。</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<ul style="list-style-type: none"> セミナーの開催 	<p>企業や民間向けに各種セミナーや勉強会を開催し、環境面におけるリスク回避や新たな価値の創造を展開していきます。また海外からの技術者を受け入れ、技術指導、技術移転を図ることで、各国における環境改善を促進し、持続可能な社会の構築に貢献していきます。</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水（水質調査・分析） 土（土壌調査・分析） 産業廃棄物 大気 悪臭・におい 環境・省エネコンサルティング 	<ul style="list-style-type: none"> マイクロプラスチック 環境アセス 自然環境 海外 <p>世界中の誰もが安全な飲料水を手に入れることができるよう、工場排水の調査、分析を行うとともに、センサー技術を活用した水質監視システムを構築、展開していきます。また持続可能な水資源の利用を実現するため、水源地を含む一般環境水質の改善に取り組んでいきます。</p>
 <p>7 公正なエネルギーを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境・省エネコンサルティング 海外 	<p>事業所の省エネ調査において、設備更新のみならず運用改善等の提案によりエネルギー効率化を推進します。また温暖化ガス削減の観点から、お客様に再生可能エネルギーへの転換も提案し、企業価値向上に貢献していきます。</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境・省エネコンサルティング 労働安全衛生 異物・材料分析 海外 	<p>環境部長[®]を通じて、事業所における環境法令の順守状況を把握するとともに、さらなる環境負荷低減へ向けてお客様に寄り添い、より一層の企業価値向上のためのサポートを行います。また省エネ調査においては適切な設備運用を提案することで、最大の費用対効果を実現していきます。ゆあらば[®]や異物・材料分析では、お客様の品質、生産効率向上のため、様々な問題解決に向けて専門的立場からアドバイスを行います。労働環境については、特に東南アジアの諸国に対して、作業環境測定を通じて劣悪な作業環境の低減を展開していきます。</p>
 <p>11 誰かのために働く機会を世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 産業廃棄物 大気・空気調査 悪臭・臭気調査 放射線量測定 環境・省エネコンサルティング 	<ul style="list-style-type: none"> 騒音・振動調査 アスベスト調査 環境アセスメント 自然環境調査 PCBコンサルティング 海外 <p>あらゆる技術を駆使して、レジリエントな社会の構築に貢献していきます。特に環境アセスメントに関しては廃棄物関連、並びに再生可能エネルギー関連の事業に着目し、常に最新の情報や技術を取得することで、お客様の要望に応じてまいります。建設工事や解体で発生した有害物質の含まれた土やPCBなどについても、適切な処理のため提案させていただきます。</p>
 <p>12 つくらしを豊かにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水（水質調査・分析） 土（土壌調査・分析） 産業廃棄物 大気 悪臭・におい 環境・省エネコンサルティング 	<ul style="list-style-type: none"> PCB アスベスト調査・分析 マイクロプラスチック 異物・材料分析 海外 <p>省エネ調査ではエネルギーの効率化と再生可能エネルギーへの転換を促進することで、持続可能な資源管理に貢献していきます。またLCAやSCOPE3の観点からも、様々なご提案をさせていただくことで、廃棄物や温暖化ガスの排出削減に貢献していきます。</p>
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水（水質調査・分析） 土（土壌調査・分析） 産業廃棄物 環境・省エネコンサルティング 	<ul style="list-style-type: none"> マイクロプラスチック 環境アセス 自然環境 海外 <p>特にマイクロプラスチック問題に着目し、最新の知見と技術に基づく改善提案を行うことで、海洋汚染の低減に貢献していきます。</p>
 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水（水質調査・分析） 土（土壌調査・分析） 産業廃棄物 環境・省エネコンサルティング 	<ul style="list-style-type: none"> 環境アセス 自然環境 海外 <p>生物多様性の確保、持続可能な自然資源の活用という観点から調査、提案をさせていただきます。</p>
 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育 各分野における調査、分析、対策工事 	<p>オオスミは「モノ」ではなく「コト」に対して最適な対応を実現するため、多岐にわたる専門分野の会社とパートナーシップを結び、各種課題を解決していきます。</p>

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

凡例 【判定】 ●：該当する ■：努力義務がある

【評価結果】 ○：適合 △改善中 ×：不適合

No	法令名称	判定	管理部署責任者	遵守状況確認・評価		
				チェック日	結果	
1	環境基本法	●	総務ディレクター	2026/3/2	○	
2	化管法（PRTR法）	●	分析技術ディレクター	2026/3/2	○	
3	労働安全衛生法	●	総務ディレクター	2026/3/2	○	
		●電離放射線障害防止規則	●	分析技術ディレクター	2026/3/2	○
		●有機溶剤中毒予防規則	●	分析技術ディレクター	2026/3/2	△
		●特定化学物質障害予防規則	●	分析技術ディレクター	2026/3/2	△
	●リスクアセスメント	●	総務ディレクター	2026/3/2	△	
4	毒物及び劇物取締法	●	分析技術ディレクター	2026/3/2	△	
5	消防法	●	総務ディレクター	2026/3/2	○	
	横浜市火災予防条例／予防規則	●	総務ディレクター	2026/3/2	○	
6	高圧ガス保安法	■	分析技術ディレクター	2026/3/2	△	
7	フロン排出抑制法	●	総務ディレクター	2026/3/2	△	
8	地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
9	エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法）	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
10	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
11	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	●	総務ディレクター 調査第一ディレクター 分析技術ディレクター	2026/3/2	△	
12	PCB廃棄物特別措置法	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
13	資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
14	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（包装容器リサイクル法）	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
15	家電リサイクル法	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
16	小型家電リサイクル法	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
17	建築リサイクル法	●	調査第一ディレクター	2026/3/2	○	
18	自動車NOx・PM法	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
19	水質汚濁防止法（地下汚染含む）	●	分析技術ディレクター	2026/3/2	△	
	横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析技術ディレクター	2026/3/2	△	
20	下水道法	●	分析技術ディレクター	2026/3/2	△	
	横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析技術ディレクター	2026/3/2	△	
21	騒音規制法	●	横浜市生活環境の保全等に関する条例 （騒音関係）	2026/3/2	○	
22	振動規制法	●	横浜市生活環境の保全等に関する条例 （振動関係）	2026/3/2	○	
23	悪臭防止法	●	横浜市生活環境の保全等に関する条例 （大気関係）	2026/3/2	○	
24	土壌汚染対策法	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
25	生物多様性基本法	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
26	グリーン購入法	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
27	電気事業法	■	総務ディレクター	2026/3/2	○	
28	水道法	●	総務ディレクター	2026/3/2	○	
29	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	●	総務ディレクター	2026/3/2	○	

7. 代表者による総合評価と改善に向けた見直し

(1) 全体評価

「当社の事業そのものが環境改善に寄与する」というモチベーションを維持・継続できている、環境経営システムは有効に機能していると評価します。

一方で、全社目標の達成状況も重要であり、電力使用量は56期と比較して減少したものの目標未達成であることから、その要因を整理し、改善につなげる必要があります。また水道の使用量は、分析量の増加による影響で増加し、目標未達成となりました。原因究明を行い、新たな削減策を検討していきます。

57期のCO₂排出量削減の具体策として、本社エアコンのオンデマンド化を実施し、EV車・ハイブリッド車の導入を見据えて、本社駐車場に充電スタンドを設置しました。58時は、東京支店についてもエアコンのオンデマンド化を実施し、本社にはデマンド監視装置を導入して、夏季の電力ピークカットを図ります。その他、電力使用量の削減に向けた社内教育を強化していきます。

(2) 見直しの結果

- ①一部目標未達成の項目もあったものの、課題が明確になったため、今後の改善活動につなげていきます。
- ②電力使用量は56期から2%減少したものの、目標は未達成となりました。57期は、設備改善および運用改善の両面から施策を実施していき、使用量を削減していきます。
- ③環境関連法規等の遵守状況について、今期はこれまでより詳細な確認を行った結果、一部に不適合が確認されました。既に改善に向けて着手をしており、58期中には全て適合とすることを目指して進めてまいります。

以上